

<細胞像問題>

問題 1 30 歳代、女性。不正出血、子宮腔頸部、サイトピック。

1. NILM
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 角化型扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

問題 2 40 歳代、女性。不正出血、子宮腔頸部、サイトピック。

1. NILM (頸管腺細胞)
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 角化型扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

問題 3 30 歳代、女性。不正出血、子宮腔頸部、サイトピック。

1. NILM
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

問題 4 40 歳代、女性。検診、子宮腔頸部、サイトブラシ。

1. NILM (化生細胞)
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

問題 5 40 歳代、女性。月経不順、子宮内膜吸引。

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 萎縮性内膜
4. 類内膜癌 G1
5. 明細胞癌

問題 6 30 歳代、女性。検診、子宮腔頸部、サイトピック。

1. NILM (エクソダス)
2. NILM (結核)
3. HSIL/CIN3
4. 胞状奇胎
5. 明細胞癌

問題 7 70 歳代、女性。不正性器出血、子宮内膜、スクリーブラシ。

1. 増殖期内膜
2. 子宮内膜炎
3. 類内膜癌 G1
4. 癌肉腫
5. 高異型度子宮内膜間質肉腫

問題 8 50 歳代、女性。子宮頸部腫瘍、子宮腔頸部、ブルーム。

1. NILM (子宮頸管炎)
2. NILM (ヘルペス感染)
3. HSIL/CIN3
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 悪性黒色腫

問題 9 30 歳代、女性。性器出血、子宮腔頸部、サイトブラシ。

1. NILM (化生細胞)
2. NILM (栄養膜細胞)
3. HSIL/CIN2
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 明細胞癌

問題 10 50 歳代、女性。不正性器出血、子宮内膜、ブラシ。

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 萎縮性内膜
4. 類内膜癌 G1
5. 漿液性癌

問題 11 70 歳代、女性。胸部異常陰影、気管支洗浄。

1. 結核
2. クリプトコッカス肺炎
3. サイトメガロウイルス肺炎
4. 小細胞癌
5. 扁平上皮癌

問題 12 30 歳代、男性。精巣腫瘍、捺印。

1. 精液瘤
2. 肉芽腫性精巣炎
3. 成熟奇形腫
4. セミノーマ
5. 絨毛癌

問題 13 70 歳代、女性。膵体部腫瘍、EUS-FNA。

1. 自己免疫性膵炎
2. 膵管癌
3. 神経内分泌腫瘍 (neuroendocrine tumor)
4. 神経内分泌癌 (neuroendocrine carcinoma)
5. リンパ腫

問題 14 30 歳代、女性。乳腺腫瘍、穿刺吸引。

1. 嚢胞
2. 肉芽腫性乳腺炎
3. 線維腺腫
4. 浸潤性乳管癌 硬性型
5. 浸潤性乳管癌 充実型

問題 15 80 歳代、女性。頸部腫脹、穿刺吸引。

1. 腺腫様甲状腺腫
2. 濾胞性腫瘍
3. 髄様癌
4. 未分化癌
5. リンパ腫

問題 16 40 歳代、女性。耳下腺、穿刺吸引。

1. 多形腺腫
2. 基底細胞腺腫
3. ワルチン腫瘍
4. 粘表皮癌
5. 唾液腺導管癌

問題 17 20 歳代、男性。リンパ節腫大、リンパ節生検捺印。

1. 菊池病（亜急性壊死性リンパ節炎）
2. サルコイドーシス
3. 結核性リンパ節炎
4. リンパ節腫大を伴う洞組織球症（Rosai-Dorfman 病）
5. リンパ腫

問題 18 70 歳代、男性。胸水。

1. 組織球
2. 反応性中皮細胞
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. リンパ腫

問題 19 60 歳代、男性。頭蓋底腫瘤、捺印。

1. 脂肪腫
2. 神経鞘腫
3. 血管腫
4. 髄膜腫
5. 脊索腫

問題 20 70 歳代、女性。肺結節影、気管支洗浄。

1. 細菌性肺炎
2. サイトメガロウイルス肺炎
3. アスペルギルス肺炎
4. クリプトコッカス肺炎
5. ニューモシスチス肺炎

問題 21 80 歳代、女性。膀胱癌 TUR 後経過観察、自然排出尿。

1. 膀胱炎（デコイ細胞）
2. 腺癌
3. 扁平上皮癌
4. 尿路上皮癌
5. リンパ腫

問題 22 70 歳代、男性。右前頭葉腫瘍、腫瘍捺印（HE 染色）。

1. 髄膜腫
2. 髄芽腫
3. びまん性星細胞腫
4. 膠芽腫
5. リンパ腫

問題 23 70 歳代、男性。健診の CT 異常陰影指摘、気管支擦過。

1. 円柱上皮過形成
2. カルチノイド腫瘍
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. リンパ腫

問題 24 80 歳代、男性。胸部異常陰影、肺胞洗浄。

1. 塵埃細胞
2. アスベスト小体
3. ムーコル
4. アスペルギルス
5. クリプトコッカス

問題 25 100 歳代、女性。歯肉難治性潰瘍、歯肉、ブラシ。

1. NILM（尋常性天疱瘡）
2. NILM（扁平苔癬 / 炎症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

<筆記問題>

問題 26 日本臨床細胞学会認定施設に対する精度管理ガイドラインについて正しいのはどれか。

1. 細胞検査士は常勤であることを必須とする。
2. 報告書は 3 年以上保存しなくてはならない。
3. 内部精度管理の調査を行い、年報を報告する義務がある。
4. 陰性標本の 20%以上を結果報告前に有資格者により再スクリーニングする。
5. 難解例や細胞診と組織診での不一致症例の検討会を少なくとも年 2 回は開催する。

問題 27 がん検診について正しいのはどれか。

1. がん検診の目的はがんの確定診断である。
2. 検診の種類に関わらず対象年齢は同一である。
3. 過剰診断による偶発症（がん）の発見は検診の意義がある。
4. 陽性反応的中率の高い検診方法は優れた検診手段である。
5. 癌検診のマネジメントにおいて、検診受診率はアウトカム指標の 1 つである。

問題 28 細胞検体を用いたゲノム検査について正しいのはどれか。

1. 形態的に標的細胞の有無を確認しなくても良い。
2. 10 年程度保管した既染細胞診標本も解析に適している。
3. 体腔液検体のセルブロック作成時にはアルコール固定が適している。
4. 生食に浮遊させた細胞検体における核酸抽出は、長期常温保管した後でも可能である。
5. ホルマリンを含む LBC 保存検体では DNA 抽出時に核酸とホルマリンのクロスリンクに注意する。

問題 29 染色法について誤っているのはどれか。

1. 脂肪 — ズダン III 染色
2. 真菌 — グロコット染色
3. 抗酸菌 — チール・ネルゼン染色
4. アミロイド — オイル赤 O 染色
5. 細胞内粘液 — PAS 反応

問題 30 腫瘍と遺伝子異常の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. MEN1 型 — *RET* 遺伝子
2. 結節性硬化症 — *TSC* 遺伝子
3. Cowden 症候群 — *PTEN* 遺伝子
4. 家族性大腸腺腫症 — *APC* 遺伝子
5. 遺伝性乳がん卵巣がん症候群 — *BRCA* 遺伝子

問題 31 子宮頸部細胞診について正しいのはどれか。

1. HE 染色にて判定する。
2. 高齢者には綿棒での採取を行う。
3. 対策型検診では HPV 単独検診を行う。
4. 扁平・円柱上皮境界部の細胞を中心に採取する。
5. ASC-H に対して HPV 核酸同定検査が保険収載されている。

問題 32 子宮頸部細胞診所見について誤っているのはどれか。

1. 妊娠中期には navicular cell が出現する。
2. 小児期には傍基底細胞優位の細胞像となる。
3. Arias-Stella 反応は異所性妊娠ではみられない。
4. 新生児期には母体のホルモンの影響がみられる。
5. 流産では細胞成熟度指数 (M. I.) は右方移動する。

問題 33 HSIL/CIN3 の細胞像について正しいのはどれか。

1. 核は偏在性である。
2. 背景は壊死性である。
3. 明瞭な核小体を認める。
4. 深層型異型細胞が主体である。
5. 核/細胞質 (N/C) 比は 60%以下である。

問題 34 子宮頸部腺癌について正しいのはどれか。

1. 胃型腺癌は HPV 関連腺癌である。
2. 明細胞癌では *STK11* 変異がみられる。
3. 通常型内頸部腺癌が最も多くみられる。
4. 胃型腺癌は通常型内頸部腺癌より予後良好である。
5. 通常型内頸部腺癌の発生には主に HPV52 型が関与している。

問題 35 子宮内膜細胞診について正しいのはどれか。

1. 検体採取後に乾燥固定を行う。
2. 約 10%に偽陰性が認められる。
3. 判定はベセスダシステムで行う。
4. 卵管癌の診断の契機になることはない。
5. 対策型検診での有効性が証明されている。

問題 36 卵巣腫瘍の細胞像について誤っている組み合わせはどれか。

1. 漿液性癌 — Psammoma body
2. 明細胞癌 — Hobnail cells
3. 卵黄嚢腫瘍 — Schiller-Duval body
4. 顆粒膜細胞腫 — Nuclear groove
5. 卵巣甲状腺腫 — Call-Exner body

問題 37 肺腫瘍と細胞所見の組み合わせについて誤っているのはどれか。

1. 腺癌 — 核の偏在性
2. 小細胞癌 — 裸核状細胞
3. カルチノイド — 流れ様配列
4. 扁平上皮癌 — 異型角化細胞
5. 大腸癌肺転移 — 柵状配列

問題 38 呼吸器の細胞診について誤っているのはどれか。

1. サイトメガロウイルス感染細胞では多核化がみられる。
2. ニューモシスチス肺炎では泡沫状球状集塊がみられる。
3. アスペルギルス症では Y 字様に分岐した菌糸がみられる。
4. 抗酸菌症では Langhans 型巨細胞の出現が特徴の一つである。
5. クリプトコッカス症ではライトグリーン好染の縁取りを持った円形胞子がみられる。

問題 39 悪性中皮腫について誤っているのはどれか。

1. 多核細胞がみられる頻度が高い。
2. 細胞辺縁は全周性の不明瞭な境界を示す。
3. ヒアルロン酸産生に富む症例では検体が粘稠になる。
4. Hump 様細胞質突起を有する鋳型細胞が多く出現する。
5. 集塊細胞の重積性は腺癌細胞集塊と比較すると高度である。

問題 40 尿細胞診について誤っているのはどれか。

1. 尿細管上皮細胞は出現しない。
2. 時として尿中に精子が認められる。
3. 早朝尿は変性傾向が強いので細胞診断に適さない。
4. 女性では扁平上皮系の細胞が認められることが多い。
5. カテーテル尿では、集塊状の尿路上皮細胞が出現しやすい。

問題 41 精巣腫瘍について正しいのはどれか。

1. 絨毛癌は出血に乏しい腫瘍である。
2. セミノーマはリンパ球浸潤に乏しい腫瘍である。
3. 胎児性癌はセミノーマと比較して核異型が軽度である。
4. 奇形腫は胎児性癌や卵黄嚢腫瘍と合併することが多い。
5. 卵黄嚢腫瘍（思春期前型）は GCNIS (germ cell neoplasm in situ) 関連性胚細胞腫瘍である。

問題 42 尿細胞診について誤っているのはどれか。

1. 淋菌性尿道炎ではグラム陰性双球菌がみられる。
2. ポリオーマウイルス感染細胞は N/C 比が低下する。
3. 単純ヘルペスウイルス感染では、多核細胞がみられる。
4. マラコプラキアでは、Michaelis-Gutmann body がみられる。
5. パピローマウイルス感染では、コイロサイトーシスがみられる。

問題 43 乳腺の筋上皮マーカーのうち核に発現するのはどれか。

1. p63
2. CD10
3. CK14
4. α -smooth muscle actin
5. smooth muscle myosin heavy chain

問題 44 甲状腺病変の細胞像として正しい組み合わせはどれか。

1. 橋本病 — 壊死性背景
2. 髓様癌 — リンパ球背景
3. 乳頭癌 — 砂粒小体
4. 未分化癌 — 核内細胞質封入体
5. 腺腫様甲状腺腫 — アミロイド物質

問題 45 オレンジ G 好性を示す口腔扁平上皮癌細胞の特徴的な所見はどれか。

1. 光輝性
2. 核内封入体
3. すりガラス状核
4. コイロサイトーシス
5. ケラトヒアリン顆粒

選択問題 A

問題 46 HPV ワクチンについて誤っているのはどれか。

1. 定期接種では、4 価、9 価ワクチンが用いられる。
2. 2022 年 4 月より、自治体からの個別勧奨が再開された。
3. 定期接種の対象は小学校 6 年～高校 1 年の女子である。
4. 定期接種により非接種者に比して子宮頸癌が 80%以上減少した。
5. 接種後に報告された多様な症状との因果関係は証明されていない。

問題 47 AIS について正しいのはどれか。

1. 扁平上皮系病変の合併は稀である。
2. コルポスコピーで特徴的所見がみられる。
3. 頸管内 skip 病変が、約 20%に認められる。
4. 円錐切除断端陰性例では追加治療は不要である。
5. 妊孕能温存希望例には広汎子宮頸部摘出術を提案する。

問題 48 子宮内膜異型増殖症について誤っているのはどれか。

1. 肥満はリスク因子となる。
2. 発症年齢の約 25%が閉経前である。
3. 約 3%に子宮内膜癌の合併がみられる。
4. 子宮内膜全面搔爬による診断が必要である。
5. 黄体ホルモンによる妊孕能温存療法の適応である。

問題 49 高異型度漿液性癌について正しいのはどれか。

1. 好発年齢は 40 代前半である。
2. 上皮性卵巣癌の中では稀である。
3. 90%以上の症例に *KRAS* 変異が認められる。
4. 約 50%に相同組み換え修復機構の異常がみられる。
5. 約 30%で生殖細胞系列の *BRCA1/2* 病的バリエントが認められる。

問題 50 卵巣腫瘍における腫瘍マーカーとして正しい組み合わせはどれか。

1. 類内膜癌 — CA19-9
2. 明細胞癌 — CEA
3. 漿液性腺腫 — CA15-3
4. 莖膜細胞腫 — NSE
5. 卵黄嚢腫瘍 — AFP

選択問題 B

問題 51 超音波内視鏡下穿刺吸引細胞診 (EUS-FNA) について正しいのはどれか。

1. 自己免疫性膵炎の診断に有用である。
2. 出血傾向のある症例の診断に適している。
3. 膵上皮内腫瘍性病変の診断に有用である。
4. 切除不能膵癌の治療方針決定に有用である。
5. 本邦では嚢胞性病変に対して積極的に行われている。

問題 52 乳腺の細胞像として適切でないのはどれか。

1. 線維腺腫 — 双極裸核細胞
2. 乳管内乳頭腫 — アポクリン化生
3. 浸潤性小葉癌 — 腫瘍細胞の結合性低下
4. Mucocele-like lesion — 核クロマチンの増量
5. Solid papillary carcinoma — 神経内分泌分化

問題 53 膠芽腫の診断に重要な所見はどれか。

1. 核内封入体
2. ロゼット形成
3. 渦巻き様構造
4. ローゼンタール線維
5. 核の偽柵状配列を伴う壊死

問題 54 リンパ節病変についての組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 類上皮細胞 — サルコイドーシス
2. Dutcher body — Burkitt リンパ腫
3. 濾胞樹状細胞 — Castleman 病
4. ポップコーン細胞 — 結節性リンパ球優位型ホジキンリンパ腫
5. Tingible body macrophage — 壊死性リンパ節炎 (菊池病)

問題 55 骨・軟部腫瘍とその遺伝子異常の組み合わせについて誤っているのはどれか。

1. 滑膜肉腫 — *SS18-SSX1* キメラ
2. Ewing 肉腫 — *EWS*
3. 骨巨細胞腫 — *NAB2-STAT6*
4. Ewing 様肉腫 — *BCOR*
5. 脱分化型脂肪肉腫 — *MDM2* 増幅

選択問題 C

問題 56 穿刺吸引細胞診の適応はどれか。

1. 乳頭腫
2. 上皮性異形成
3. 尋常性天疱瘡
4. 口腔扁平苔癬
5. 歯原性角化嚢胞

問題 57 尋常性天疱瘡について、正しいのはどれか。

1. 遺伝性疾患である。
2. 上皮下水疱が形成される。
3. ニコルスキー現象がみられる。
4. 口腔細胞診の対象とはならない。
5. 抗 BP180 抗体が高率に検出される。

問題 58 口腔上皮性異形成の診断基準項目で、構造異型はどれか。

1. 異型核分裂像
2. 核小体の増加
3. 細胞の形状不整
4. 核・細胞質比の増大
5. 基底細胞の極性喪失

問題 59 細胞所見と腫瘍の組み合わせで誤っているのはどれか。

1. 泡沫細胞 — 腺様嚢胞癌
2. 中間細胞 — 粘表皮癌
3. 間質性粘液 — 多形腺腫
4. 壊死性背景 — 唾液腺導管癌
5. 好酸性上皮細胞 — ワルチン腫瘍

問題 60 PAS 染色が診断に有用な病変はどれか。

1. 口腔梅毒
2. 口腔結核症
3. 口腔カンジダ症
4. ヘルペスウイルス感染症
5. サイトメガロウイルス感染症

<検鏡問題>

総合科

【総合科1】 30歳代・女性 不正性器出血 子宮腔頸部 サイトピック

問題1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題2 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（萎縮性膣炎）
2. NILM（カンジダ感染）
3. NILM（トリコモナス感染）
4. 角化型扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

【総合科2】 60歳代・女性 不正性器出血 子宮内膜 オネストブラシ

問題3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 増殖期内膜
2. 萎縮性内膜
3. 類内膜癌 G1
4. 漿液性癌
5. 癌肉腫

【総合科3】 20歳代・女性 帯下 子宮腔頸部 サイトピック

問題5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（慢性頸管炎）
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 角化型扁平上皮癌
5. 通常型内頸部腺癌

【総合科4】 50歳代・女性 卵巣腫瘍 捺印

問題7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題8 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 線維腫
2. 顆粒膜細胞腫
3. 高異型度漿液性癌
4. 類内膜癌
5. 明細胞癌

【総合科5】 70歳代・女性 帯下増量 子宮腔頸部 綿棒

問題9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題10 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（カンジダ感染）
2. NILM（トリコモナス感染）
3. LSIL/CIN1
4. HSIL/CIN3
5. 通常型内頸部腺癌

【総合科6】 30歳代・女性 不正性器出血 子宮腔頸部 サイトブラシ

問題11 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題12 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（濾胞性頸管炎）
2. LSIL/CIN1
3. HSIL/CIN3
4. 通常型内頸部腺癌
5. 小細胞癌

【総合科 7】 40 歳代・女性 内膜肥厚精査 子宮内膜 サイトブラシ

問題 1 3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 1 4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 増殖期内膜
2. 分泌期内膜
3. 子宮内膜増殖症
4. 類内膜癌 G1
5. 漿液性癌

【総合科 8】 40 歳代・女性 検診 子宮腔頸部 ユイノブラシ

問題 1 5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 1 6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（慢性頸管炎）
2. HSIL/CIN3
3. AIS（上皮内腺癌）
4. 非角化型扁平上皮癌
5. 胃型粘液性癌

【総合科 9】 70 歳代・女性 不正性器出血 子宮内膜 ブラシ

問題 1 7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 1 8 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 増殖期内膜
2. 萎縮性内膜
3. 類内膜癌 G1
4. 漿液性癌
5. 癌肉腫

【総合科10】 20歳代・女性 外陰部痛 子宮腔頸部 サイトピック

問題19 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題20 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（クラミジア感染）
2. NILM（ヘルペス感染）
3. LSIL/CIN1
4. HSIL/CIN3
5. 角化型扁平上皮癌

【総合科11】 70歳代・男性 咳嗽 体重減少 蓄痰

問題21 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題22 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 修復細胞
2. 軽度異型扁平上皮細胞
3. 腺様嚢胞癌
4. 腺癌
5. 扁平上皮癌

【総合科12】 60歳代・女性 胸部異常陰影 気管内採痰

問題23 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題24 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 反応性中皮細胞
2. アスペルギルス症
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. 扁平上皮癌

【総合科 1 3】 70 歳代・女性 気管支病変 生検捺印

問題 2 5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 6 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 感染症（肺結核症）
2. カルチノイド
3. 小細胞癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 腺扁平上皮癌

【総合科 1 4】 60 歳代・男性 肉眼的血尿 自然尿

問題 2 7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 8 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 変性尿路上皮細胞
2. 精嚢上皮細胞
3. 尿路上皮乳頭腫
4. 腺癌
5. 尿路上皮癌

【総合科 1 5】 80 歳代・男性 黄疸 ERCP 下胆汁吸引

問題 2 9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 3 0 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 反応性胆管上皮細胞
2. 低異型度胆管内乳頭状腫瘍
3. 腺癌
4. 小細胞癌
5. リンパ腫

【総合科16】 70歳代・女性 マンモグラフィ異常 穿刺吸引

問題31 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題32 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 嚢胞
2. 線維腺腫
3. 乳管癌
4. 粘液癌
5. 小葉癌

【総合科17】 50歳代・女性 甲状腺腫瘍 穿刺吸引

問題33 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題34 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 慢性甲状腺炎
2. 腺腫様甲状腺腫
3. 濾胞性腫瘍
4. 乳頭癌
5. 髄様癌

【総合科18】 60歳代・男性 耳下腺 穿刺吸引

問題35 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題36 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 唾液腺導管癌

【総合科19】 30歳代・男性 頸部リンパ節腫脹 リンパ節生検捺印

問題37 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題38 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 皮膚病性リンパ節症
2. 肉芽腫性リンパ節炎
3. 腺癌の転移
4. ホジキンリンパ腫
5. リンパ芽球性リンパ腫

【総合科20】 80歳代・女性 胸水貯留 胸水穿刺吸引

問題39 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題40 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 反応性中皮細胞
2. 腺癌
3. 扁平上皮癌
4. 悪性中皮腫
5. リンパ腫

歯科

【歯科 1】 80歳代、女性。舌白斑、ブラシ擦過(LBC)

問題 1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（カンジダ感染）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

【歯科 2】 60歳代、男性。頬部腫脹、穿刺吸引(LBC)

問題 3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 4 推定診断として最も適切なものはどれか

1. 膿瘍
2. 粘液嚢胞
3. 類皮嚢胞
4. 扁平上皮癌
5. リンパ腫

【歯科 3】 80歳代、男性。歯肉びらん、ブラシ擦過(LBC)

問題 5 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 6 推定診断として最も適切なものはどれか

1. NILM（過角化症）
2. NILM（カンジダ感染）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

【歯科4】 40歳代、女性。多発性頬粘膜びらん、ブラシ擦過

問題7 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題8 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（ウイルス感染）
2. NILM（尋常性天疱瘡）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

【歯科5】 50歳代、男性。歯肉びらん、ブラシ擦過

問題9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題10 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（歯肉炎）
2. NILM（単純疱疹）
3. 腺様嚢胞癌
4. 転移性腫瘍（腺癌）
5. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）

【歯科6】 70歳代、女性。頬粘膜白斑、ブラシ擦過

問題11 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題12 推定診断として最も適切なのはどれか

1. NILM（尋常性天疱瘡）
2. NILM（扁平苔癬/炎症）
3. OLSIL（軽度異形成）
4. OHSIL（高度異形成）
5. SCC（扁平上皮癌）

【歯科7】 70歳代、女性。口腔底部腫脹、穿刺吸引

問題13 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題14 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 粘液嚢胞
2. 類表皮嚢胞
3. 多形腺腫
4. リンパ管腫
5. 粘表皮癌

【歯科8】 20歳代、女性。顎骨腫脹、穿刺吸引

問題15 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題16 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 歯根嚢胞
2. 歯原性角化嚢胞
3. エナメル上皮腫
4. 転移性腫瘍（腺癌）
5. 原発性骨内癌、NOS

【歯科9】 40歳代、女性。左顎下腺腫脹、穿刺吸引

問題17 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題18 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 腺房細胞癌

【歯科 1 0】 40 歳代、女性。頬部腫瘍、捺印

問題 1 9 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 0 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 多形腺腫
2. ワルチン腫瘍
3. 粘表皮癌
4. 腺様嚢胞癌
5. 腺房細胞癌

【歯科 1 1】 70 歳代、女性。右頸部リンパ節腫大、穿刺吸引

問題 2 1 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 2 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 反応性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 転移性腫瘍（腺癌）
4. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）
5. リンパ腫

【歯科 1 2】 70 歳代、女性。右頸部リンパ節腫大、穿刺吸引

問題 2 3 細胞診判定はどれか

1. 陰性（正常、良性、感染）
2. 要精査（悪性、境界悪性、前駆病変）

問題 2 4 推定診断として最も適切なのはどれか

1. 反応性リンパ節炎
2. 結核性リンパ節炎
3. 転移性腫瘍（扁平上皮癌）
4. 転移性腫瘍（甲状腺乳頭癌）
5. リンパ腫